

# 町田健一先生への感謝の言葉

## In Gratitude to Professor Kenichi Machida

佐々木 輝美 SASAKI, Teruyoshi

● 国際基督教大学  
International Christian University

町田健一先生がご退職なさると聞いて、だれもが驚くことでしょう。そうです、町田先生はあまりにも若々しすぎます。外見上のことだけではありません。何事につけても、その取り組みの姿勢はたいへんエネルギーに満ちたものであります。そのように若々しくてエネルギッシュな町田先生がご退職された後の教育学デパートメントは、とても寂しくなるにちがいません。

町田先生のICUへのご貢献は多岐にわたりますが、ICUのだれもが認めるのは教職課程へのご貢献です。学内どころか、他大学の教職課程にも大きな影響を与えたことは、以下のような町田先生が務められた役職やご著書の例を見れば明らかでしょう。

たとえば学外で務められた役職として、日本キリスト教教育学会会長、日本教師教育学会常任理事、ICUHS 学校評議員、キリスト教学校教育同盟後継者養成プロジェクト委員、全私教協および私大団連等の「教員養成制度検討委員会」委員などがあげられます。

また、ご著書（共著・分担執筆）としては、『教育原理』（保育出版）、『日本教師教育学会編 教師教育学Ⅱ 教師をめざす』（学文社）、『教育実習ハンドブック』（学文社）、『介護等体験ハンドブック』（大修館書店）、『愛するってどういうこと？～新しい性教育ガイド～』（福音社）、『教師をめざす君たちへ』（キリスト教学校教育同盟）など、多数に及びます。

このような深い知識と経験を生かし、ICUにおいては全国の大学の中でも最高レベルの教職課程を築かれました。「ほとんどの教職大学院がかすんでしまうくらいだ」と専門家から評価されるほど、ICUの教職課程のカリキュラムは素晴らしいものです。しかしながら、この素晴らしいICUの教職課程は、ICUの学内では当たり前のように捉えられてきたような気がします。おそらく私たちは、町田先生がICUを去られた後に初めて町田先生のご貢献の大きさ、そして町田先生が築かれたICUの教職課程の素晴らしさに、改めて思い知らされるのでしょう。

23年間にわたるICUでの大きなご貢献に対して心から感謝するとともに、今後の町田先生のご活躍とご健康を心よりお祈りいたします。